

徳島県  
小松島市

# こまごしまGUIDE toko-toko



小松島市  
観光PRマスコットキャラクター  
金長たぬぎ「こまボン」

# 市長の好きな小松島

これまで小松島市の農業発展に貢献されてきた濱田市長。そんな濱田市長に、個人的なお勧めスポットを聞きました。

## 日本の原風景を味わってほしい

小松島を訪れる方々の中には、都会の騒がしさから離れて、ゆったりとした時間に浸りたいという方も多く感じます。そんな方々にお勧めしたいのが、里山の風景です。たとえば檜淵町や立江町などに広がる田園や集落の表情は、まさに日本の原風景とも呼べるもの。春には真っ青な絨毯を敷き詰めたようになり、秋には金色の稲穂が辺り一面を埋め尽くします。潮風が香る港町とともに、こうした里山の小道もぶらりと散策してみてください。小松島市街を一望するなら、徳島市との境にある日峰山からの眺めがお勧めです。山頂から見る宝石を散りばめたような夜景も、とてもロマンティックですよ。



●日峰山からの眺め

また、新鮮でおいしい小松島を存

分に楽しんでいただけるよう、地元の方々と協力しながら、今後もさまざまな食イベントをご用意していく予定ですので、自然の恵みがたっぷり詰まった小松島市に、どうぞご期待ください。



●金長狸と義経を連想させる「こまボン」が、小松島の新しいご当地キャラクターとして誕生しました。これからは大好きな小松島を盛り上げていきます！

民話と伝説が息づく港町を  
ゆつくりと歩きながら  
多くの感動に出会ってください。



## インタビュー 小松島市長 濱田保徳氏

### 心にじわりと 染みこむような 風景がある

徳島の東側に位置する小松島は、四国と関西を結ぶ玄関口として栄えた港町です。その中心である小松島港は「四国の東門」と呼ばれ、四国と京阪神を結ぶ海上輸送の要所として活躍してきました。大阪や和歌山に向けて客船やフェリーが発着し、最盛期には年間100万人以上の出入りがあったものです。港周辺やフェリーの中では、名物の竹ちくわなどが売られていたことを懐かしむ市民や観光客の方が大勢いらっしゃいます。

現在、フェリー乗り場の跡地には「みなとオアシス交流広場」が整備され、わがまちの新しい名所として親しまれています。海沿いに敷き詰められた木製デッキの上を歩けば、潮風が懐かしい港町の記憶を運んできてくれることでしょう。

港までアクセスしていた国鉄「小松島線」廃線跡は、市民が憩う遊歩道として生まれ変わりました。遊歩道を港からゆつくり西へと歩いていくと、わずか10分ほどで「小松島ステーションパーク」という大きな公園にたどり着きます。公園は西側の「たぬき広場」と東側の「S」記念

「広場」に分かれており、小松島を象徴するキャラクターや記念物が点在し、S「機関車が展示されています。なかでも注目なのが、小松島市のシンボルマークにもなっている金長狸（きんちようだぬき）の銅像です。

小松島に古くから伝わる民話「阿波の狸合戦」の主人公で、戦前には映画化され、空前のヒットとなりました。たぬき広場に鎮座している金長狸の銅像の全長は、なんと約5メートル。日本一大きな狸の銅像の正面に立つて手を叩くと、背後の岩山から滝が流れる仕掛けは必見です。ほかにも、小松島ではユニークな狸の姿を街中で見ることができ、ご家族やカップルで散歩をしながら探してみるのも面白いかもしれません。

金長狸と並び、小松島に古くから語り継がれる伝説として親しまれているのが「義経伝説」です。その昔、



●金長神社

平家討伐のために大阪摂津から海を渡った源義経の軍勢は、小松島に漂着しました。その後、屋島に向かつて進軍したとされるルートは「義経ドリームロード」と名付けられ、観光名所のひとつとなっています。近くには四国八十八カ所霊場の「恩山寺」と「立江寺」の2つの札所もありますので、どちらも日帰りの観光コースに組み込んでみてください。

### うまいものと 季節の楽しさを 思う存分に

初めて訪れる土地で一番の楽しみとなるのが、その地域ならではの食文化です。東を紀伊水道に面し、勝浦川と那賀川という大きな河川の流域に位置する小松島は、まさに食材の宝庫。紀伊水道ではハマヤガザミ、クルマエビが獲れ、ボイルしたイワシの稚魚を乾燥させた和島チリメンや、魚のすり身を加工した竹ちくわやフィッシュユカツなど、全国に誇る水産加工品がたくさんあります。



●竹ちくわ

また、毎年7月に開催される「小松島港まつり」は、すっかり夏の夜を彩る風物詩として定着しました。なかでも、地元の花火職人たちが



●納涼花火大会

が誇りをかけて仕込んだ納涼花火大会のスケール感や演出力は折り紙つきです。海からの潮風と人の熱気を感じながら、海上に上がる花火をお楽しみいただければと思います。ほかにも、毎年2月には「義経夢想祭」、春には「金長まつり」など、伝説や民話を絡めたイベントが開催されますので、気軽にご参加ください。

小松島市では、皆さまに充実した時間を過ごしていただけるよう、徳島県東部の12市町村による「とくしま旅づくりネット」に参加し、それぞれの観光資源を生かしたネットワークづくりにも積極的に取り組んでいます。まずはJR南小松島駅構内に設けている観光案内所をご活用いただき、皆さんにぴったりの観光コースを探してみてください。きつと、とびりりの笑顔をお土産としてお持ち帰りいただけることでしょう。



●小松島ステーションパーク

(小松島町)  
かつて日本で一番短い路線として運行していた国鉄小松島線・小松島駅跡に設けられた公園。東側のたぬき広場には金長などの狸の姿が、西側のSL記念広場には開業当時の駅舎が再現されています。



●ミニ四国八十八カ所

(中田町・立江町など)  
四国遍路へ足を運ばない人にもむけて、各地の霊場から集めた土を使って建立されたミニ四国八十八カ所。巡礼を体験できるハイキングコースとして親しまれています。

四国八十八カ所霊場第19番札所

●立江寺 (立江町)

光明皇后の安産祈願にと、聖武天皇の勅命で開かれました。現在も安産祈願に訪れる方が多く、鎌倉期の重要文化財が今なお残るなど、見所満載のお寺です。



●のぞみの泉 (南小松島町)

平成7年に、小松島ライオンズクラブ結成30周年を記念してつくられた井戸です。JR南小松島駅前であり、湧水を汲みにくる市民がたくさんいます。



●地藏寺 (松島町)

地藏菩薩を本尊に弘法大師が開いたお寺。室町期の面影を伝える本堂と書院があり、大曼荼羅は県の重要文化財です。阿波藩主蜂須賀公が来訪の折に所望し、絶賛されたと伝えられる湧き水「宝寿水」が中央部に湧き出ています。また、境内には桜、牡丹、花みずき等、いろいろな花木を1年を通じて楽しむことができます。



●小松島港まつり (小松島町)

7月中旬に小松島港周辺を会場に行われる、夏の一大イベント。県下最大級の花火大会をはじめ、阿波踊りや海上自衛隊の護衛艦体験航海などイベント目白押しです。



●小松島みなと交流センターkocolo (小松島みなとオアシス) (小松島町)

NPO法人運営によるカフェや屋内フリーマーケット、産直市などが常設されており、地域の憩いの場となっています。また、年間を通して様々なイベントが開催されており、港まち小松島の象徴となっています。国土交通省により平成16年8月「みなとオアシス」として登録されています。



四季を通じて、さまざまなイベントが開催される小松島市。市内の主要スポットを網羅したこの地図を見れば、今日からあなたも「こまつしま博士」になれる!?

一年中おもしろい!  
KOMATSUSHIMA



四国八十八カ所霊場第18番札所

●恩山寺

(田野町)  
裏山一帯が自然公園に指定されている恩山寺は、元来女人禁制の寺院に、弘法大師が母親を伴い登山し孝行を尽くしたことから母養山という寺号が付けられました。



一年中お楽しみ満載!  
小松島  
イベント歳時記



●小松島春のまつり・金長まつり

(4月下旬～5月上旬) 市内一円

●やまもも狩り

(6月下旬) 榑淵町



●祇園祭

(7月17日～20日) 松島町八坂神社

●小松島港まつり

(7月 海の日とその前日) 小松島港周辺

●豪華客船の寄港

(8月中旬) 金磯・新港岸壁



●元根井花火大会

(9月中旬) 元根井漁港

●立江八幡神社例大祭

(9月中旬) 立江町八幡神社

●横須花火大会

(10月中旬) 小松島競輪場周辺

●天狗しばき

(10月中旬) 立江町秋葉神社

●稚児三番叟

(10月下旬) 田野町天王社



●こまつしま・うまいもん祭り

(11月下旬) 小松島港周辺

●義経夢想祭

(2月第3日曜日) 芝生町旗山

●立江地藏市・植木市

(2月23日～25日) 立江寺周辺



# 義経

## ドリームロード

yoshitsune dream road

かつて源義経が駆け抜けたとされる  
 田野町勢合を起点とする約10kmの道程。  
 歴史ロマン溢れる義経ドリームロードをご紹介します。



# 金長

## たぬき

kincho tanuki

小松島市の通りを歩くと、そこかしこで出会える愛らしいたぬきの姿。  
 ここでは小松島市とたぬきの  
 不思議な関係を紐解いていきます。

いまもなお、たくさんの方の心を揺さぶる義経の足跡、ドリームロードを巡り、遙か平安時代の歴史ロマンに思いを馳せてみませんか。

※1: 現在の神戸付近 ※2: 現在の大阪港

義経上陸を示す石碑が建つこの地を起点に、全長約10キロメートルにわたる「義経ドリームロード」が勝浦川沿いにたたくむ中王子まで続きます。道程には案内板や道しるべが設置され、歴史好きにはたまらないロマンあふれるスポットとして親しまれるようになりました。小松島市を駆け抜け、屋島へ至るまで、わずか一日足らずの短い時間にもかかわらず、義経に関する伝説は、市内の各地に数多く残されています。

**史実と伝説が交差する 夢想街道**  
 平安時代の末期、一ノ谷(※1)での合戦を制した源氏の若き武将・源義経は、決戦の地となる屋島へ向かうべく、嵐の摂津港(※2)を出発しました。荒れ狂う波をかき分けて船を進めた義経一行が、小松島に到着し、軍船を集めて勢揃いしたとされるのが、小松島市田野町の勢合付近といわれています。

**忠義にあふれる 金長たぬきの伝説**  
 天保時代、子どもたちからいじめられていたところを、日開野の染物商・大和屋の主人に救われた金長たぬき。その恩返しにと、不思議な力で大和屋を繁盛させます。これが、小松島市で古くから老若男女に親しまれている「金長たぬき」の物語です。  
 小松島市がたぬきの街として注目されたきっかけは、昭和14年に金長たぬきの伝説を元に作られた映画「阿波の狸合戦」。日本中でブームを巻き起こしたこの映画で、小松島の金長は全国に名を知られ、映画関係者は日峰山の麓に神社を建てて、金長たぬきをお祀りしたのです。

**映画大ヒットは たぬきの神通力!?**  
 その後も続編の制作が進められ、最終的には十数本にもおよぶシリーズ映画がいくつも大ヒットを収めます。映画会社の役員は「たぬきの神通力に違いない」と、昭和32年には「金長大明神」と呼ばれる立派な神社を中田町に建立し、感謝の意を表しました。  
 一躍小松島市のヒーローとなった、金長をはじめとするたぬきたち。今もなお小松島市にたぬきの姿があふれるのは、健気で仁義深い彼らを市民が大切にしていた証です。小松島市を訪れる際には、街中で愛らしい姿を見せるたぬきたちに会いにきてください。



**1 勢合 (田野町勢合)**  
 摂津を出征した義経軍が、わずか6時間で小松島に到着し、軍船を集めて勢揃いした場所。付近に義経馬蹄洗池、弁慶勢くぐりの岩、弁慶橋などの伝承地が点在しています。



**2 釈迦庵 (田野町中須)**  
 釈迦寺谷にかつて存在した寺。旅の安全を祈る仏足石や、安産祈願のむつき堂が今も残っています。古道に面するこの付近を義経は一気に駆け抜けました。



**3 弦張坂 (田野町中須)**  
 釈迦庵の横手から伸びる緩やかな上り坂。頂上付近に潜むかもしれない敵に備え、坂の手前で配下に弓の弦を張らせたことから、この名前が付けられました。



**4 弦巻坂 (田野町恩山寺谷)**  
 釈迦庵から恩山寺へ登る坂の向こう側に敵がないことを確認した義経は、警戒を解き、兵に弓の弦を巻かせたと伝えられています。



**5 旗山 (芝生町宮ノ前)**  
 騎馬像として日本一の高さを誇る6.7mの義経像がそびえる旗山。義経はこの地に源氏の白旗を掲げ、兵の士気を高めました。



**6 天馬石 (芝生町宮ノ前)**  
 旗山の東側に位置し、源平合戦で名を馳せた名馬油月が天から舞い降りて石に化けたといわれています。この石にまたがると腹痛を起こしてしまうとも言われています。



**8 新居見城跡 (新居見町東山下)**  
 義経に協力し、屋島までの道案内を買って出た近藤六親家の居城跡。当時は周辺に200余名の配下を抱える地元の有力な武将だったと言われています。



**7 弁慶の岩屋 (芝生町大獄)**  
 6世紀後半につくられた横穴式古墳。義経の配下である弁慶が豪腕の持ち主であることから、その怪力をもって築いたという伝説が生まれました。

### 義経ドリームロード スポット紹介



**10 中王子 (田浦町中西)**  
 勝浦川をはさみ対岸に位置する熊山城攻めの陣を構えた場所。義経はここから一気に川を渡り、勝利をつかんだとされています。



**9 くらかけの岩 (新居見町山路)**  
 新居見城跡に近い春日神社の境内にある大岩。熊山城攻略のため進軍する義経が、戦前にこの岩に馬の鞍を下ろして、休憩をとったとされる場所です。



**8 新居見城跡 (新居見町東山下)**  
 義経に協力し、屋島までの道案内を買って出た近藤六親家の居城跡。当時は周辺に200余名の配下を抱える地元の有力な武将だったと言われています。



**7 弁慶の岩屋 (芝生町大獄)**  
 6世紀後半につくられた横穴式古墳。義経の配下である弁慶が豪腕の持ち主であることから、その怪力をもって築いたという伝説が生まれました。



● JR 牟岐線 南小松島駅 (南小松島町)



● 小松島市役所 (横須町)



● たぬきのポスト (ステーションパーク SL 記念広場)



● 八千代橋たもと (南小松島町)



● 小松島郵便局 (堀川町)



● 金長大明神 (中田町)



● 旗本・藤の樹寺の大鷹 (ステーションパーク たぬき広場)



● 大将・金長 (ステーションパーク たぬき広場)



● 忍者・一本松おたけ (ステーションパーク たぬき広場)



● 参謀長・衛門三郎 (ステーションパーク たぬき広場)



● 藤の樹寺の小鷹・熊鷹 (ステーションパーク たぬき広場)



● 軍師・田浦太左衛門 (ステーションパーク たぬき広場)



● 参謀長・衛門三郎 (ステーションパーク たぬき広場)

※ 義経ドリームロード、各たぬきの場所はP3.4の「小松島まるごとMAP」でご確認ください。

# 水産物 水産加工品

2つの海が会う最高の漁場

小松島市に面する紀伊水道は  
太平洋と瀬戸内海が交わる栄養豊富な海域。  
たくさんの魚介類が水揚げされ、  
それらを用いた加工品の生産も盛んです。



クルマエビ

小松島のクルマエビは「お花の車海老」という可愛い名前ブランド化されています。全長25cm以上の大きめサイズが特長で、天ぷらや焼物でいただくほか、天然ものならではお刺身も外せません。



チリメン

新鮮なイワシの稚魚を素早くゆで揚げ、太陽光で乾燥させたものがチリメンです。漁獲から加工、出荷まで漁協が一貫して行うため、鮮度と品質は抜群。醤油とスタチを上からかければ、ご飯のお供に最適です。

新鮮なイワシの稚魚を素早くゆで揚げ、太陽光で乾燥させたものがチリメンです。漁獲から加工、出荷まで漁協が一貫して行うため、鮮度と品質は抜群。醤油とスタチを上からかければ、ご飯のお供に最適です。



竹ちくわ

スケトウダラ、グチ、ハモ、キンメダイといった、新鮮な白身魚のすり身を使い、竹に巻き付けて焼いた練り製品です。焼きたてをそのままパクッとかがじりつのが一番。プリプリの弾力と、じわっとしみ出る白身魚の旨味がたまりません。



フィッシュカツ

白身魚のすり身に、トウガラシやカレー粉などのスパイスで味付けした練り製品。小松島の名産のひとつで徳島ではメジャーな食べ物ですが県外では珍しく、手みやげに持参すると、とても喜ばれる一品です。

新鮮なイワシの稚魚を素早くゆで揚げ、太陽光で乾燥させたものがチリメンです。漁獲から加工、出荷まで漁協が一貫して行うため、鮮度と品質は抜群。醤油とスタチを上からかければ、ご飯のお供に最適です。



ガザミ

紀伊水道の豊かな海域で育った、型の大きいワタリガニ。小松島では「阿波ガザミ」としてブランド化されています。たっぷりの旨味と弾力のある身は、シンプルに蒸して食べるのがベスト。タンパク質、ビタミンなど栄養豊富です。



干しエビ

底曳き網によって捕れるサルボエビを、捕れたその場で煮干加工。濃厚な旨味をさらにギュッと凝縮させた干しエビは、噛み締めると口中に甘みが広がります。料理はもちろん、おつまみから子どものおやつまで、人気の高い一品です。



ハモ

夏の味覚として主に関西地方で重宝されているハモ。小松島漁港では、全国有数の漁獲高を誇ります。湯引きなどで食することが多く、カルシウムをはじめタウリンやタンパク質など栄養満点。夏バテ解消にも効果抜群です。



ワカメ

カルシウムや食物繊維、ビタミンを多く含むワカメ。目前に紀伊水道を臨む小松島は、美味しいワカメが収穫できる地域のひとつです。厚身で食べごたえのある、シコシコとした食感で人気を集めています。

## インタビュー 水産加工業 谷 秀夫 さん

## 新鮮な白身魚と 竹の風味が おいしさの秘密です。

### 竹を持つて 丸かじりする喜び

小松島の名産品の一つである「竹ちくわ」を、皆さんはお食べになったことがあるでしょうか。竹に魚肉のすり身を巻きつけて焼いたもので、両端に突き出た竹を持ち、身を丸かじりして食べます。少しお行儀が悪そうに見えますが、この食べ方が本場においておいしいんです。一般的になちくわよりもしっかりとした味をしているので、ご飯のおかずとしてはもちろん、おやつとして楽しんだり、酒の肴にするなど、食べ方もバラエティーに富んでいます。

竹ちくわの材料となるのは、主にスケトウダラやグチ、ハモ、キンメダイなどの白身の魚です。季節ごとに魚の種類も変わりますが、鮮度の良いものを選び、温度や湿度に気を配りながら塩加減や練り具合を調整しています。あまり水を多く入れずに練り合わせることで、旨味が詰まった弾力のある竹ちくわが出来上がります。

### 焼きたてを、ほおぼるチャンスも

港町として栄えた頃はたくさんあった水産加工業者も大手加工業者の登場等により、今はその数を少し減らしてしまいました。でも、残っている業者は、それぞれの伝統や手法、それぞれの味を守りながら、竹ちくわを全国の食卓に届けています。現在は機械化によって調理環境も向上し、より多くの竹ちくわを安定して生産することができるようになりました。早朝に製造した新鮮な竹ちくわを、毎日出荷しています。

小松島にお立ち寄りの際は、ぜひ地元のお店で竹ちくわを買ってみてください。タイミングが合えば、焼きたての竹ちくわを食べるチャンスもあります。出来立てはやはり絶品なので、見掛けただけで食べてみてください。



### 小松島に上陸した 義経も食べた!?

昭和の頃、四国の東の玄関口として栄えた小松島港には、和歌山や阪神行きの「阿根航路」がありました。最寄りの駅や港の販売所には竹ちくわが並び、フェリーの中でおいしそうに竹ちくわをほおぼる乗客の姿をよく見かけたものです。私も父親が作った竹ちくわを、港まで自転車で運んだことを覚えています。

実はこの竹ちくわには、面白い言い伝えがあります。平安時代末期に起こった源氏と平氏による屋島の戦いの際、小松島に上陸した源義経の軍勢が、地元の漁夫たちが食べていた竹ちくわを所望したというものです。この時、義経はその芳香と味を絶賛したといわれています。



### ●スダチ

スダチは徳島を代表する柑橘系の一種で、美しい緑色の果実が特長。果汁の爽やかな風味と酸味が、料理をひきわたる食卓の名脇役です。小松島では、那賀川水系の美しい水を用いて、品質の良いスダチが生産されています。



### ●オクラ

「早だしオクラ」として、他の産地よりも出荷時期を前倒しにして生産される小松島のオクラ。健康志向の高まりから、そのネバネバ成分が注目を浴びています。ビタミンC、カルシウム、カロチンなど栄養素も豊富です。



### ●タケノコ

春の味覚として、3月から4月にかけて出荷のピークを迎えます。小松島で収穫されるのは、味がよく大きなサイズのモウソウチクという種類。シャキシャキとした歯ごたえがあり、煮物や炒め物にもってこいです。



# 農産物

## 一度食べたらずめられん 小松島市の風土に育まれた農産品

太平洋側気候に属する小松島市では温暖な気候と日照時間の長さを生かし、野菜や果実をはじめとする農産物や阿波牛などの生産が行われています。



### ●早期米

県内有数の早期米生産地で、4~5月上旬にかけ田植えを行います。台風が多くなる8月頃までに収穫を終えるため品質の良さが際立ち、食味にこだわったお米は数多くのリピーターに愛されています。



### ●ミカン

温暖な気候に属する小松島は、品質の良いミカン育てるのに格好のエリアです。比較的出荷時期の早い品種を中心に生産され、初秋には甘酸っぱい果実が、小松島市から全国に向けて出荷されています。



### ●ハウスキュウリ

みずみずしい歯ごたえと爽やかな香りが、サラダや酢の物などに欠かせないキュウリ。温かい気候の小松島は温度管理がしやすく、ハウスキュウリの栽培に最適な土地です。露地ものが少ない12月~5月に収穫を行い、全国へ発送されていきます。



### ●ヤマモモ

生産量県下一を誇るヤマモモは、小松島の初夏の風物詩として有名な果物。温暖な気候の市内一帯に自生し、そのまま食す以外にも果実酒やジャム、ジュースといった加工品の原料としても人気です。



### ●トマト

美容・健康によいとされるトマトは、高酸化作用のあるリコピンをはじめ数多くの栄養素が含まれます。小松島では一般的なトマトに加え、旨味成分と糖度の高いフルーツトマトが水耕栽培で育てられています。



### ●ブロッコリー

豊かな水と肥沃な大地がおいしいブロッコリーを育てるポイント。勝浦川と那賀川に囲まれた小松島は、その条件にぴったりです。水田の裏作として栽培されています。カロチンやビタミンB1が多く、健康野菜としても人気を集めています。



### ●阿波牛

豊かな食感と芳醇な味わいが魅力の阿波牛。その一大産地として、小松島でもたくさんの肉牛が育成されています。最新の飼育技術とたっぶりの愛情を込めて、一頭一頭丁寧に育てているため、品質の良さは折り紙付きです。

### ●菜の花

関東・京阪神を中心に出荷され、本市の生産高は県内第2位。おすすめの食べ方は特有の苦みがひきたつ、おひたしや和え物、炒め物などです。保水力を高める高畦栽培など、生産農家の努力で年々品質が向上しています。



### ●菌床シイタケ

小松島で生産されるシイタケのほとんどは、オガクズなどに栄養素を混ぜて固めた「菌床」と呼ばれる培地で育てられています。全国でも上位の出荷量を誇り、肉厚で味がよく、品質が安定しているのが特長です。

### ●イチゴ

小松島のイチゴは、甘酸っぱい香りとジューシーな味わいが特長です。「より安全な果実を全国へ届けたい」と、減農薬栽培に取り組むイチゴ生産者もたくさんいます。ビタミンCが豊富で風邪の予防などに効果があります。



### インタビュー

みはらしの丘 あいさい広場  
谷 誠二 さん

## 自慢の食材と元気な笑顔を見に来てください。

### 四国最大級の産直市として

「みはらしの丘 あいさい広場」は、小松島が誇る四国最大級の産直市です。平成18年にオープンして以来、当初の予想をはるかに超える方々にご利用いただいています。その人気の秘密は、季節ごとに採り揃えられる新鮮で豊富な食材と、徹底した安全・安心への配慮です。それを可能にするのが、地域ぐるみの納入システム。農家やお店、一般の方など、500軒近い生産者が業者登録をし、毎日のように商品を納めていただくことで、新鮮な地元食材をお客様に提供しています。商品が売り切れ次第、すぐに生産者にメールで連絡し、採れたてや作りたての商品を補充する仕組みです。あいさい広場の食材が、どれも新鮮でおいしい理由が、ここにあります。



### 素朴で温かい人情の味

新鮮な野菜や水産物、お米などはもちろんお勧めですが、手作りのお総菜が豊富なことも大きな特長です。お漬物や巻き寿司、煮物や焼き物など、地元のおばちゃんたちが手作りした料理は、素朴で本当においしいですよ。市場を通さないので値段も安く、毎日のように足を運んでくれるお客様もいらっしゃいます。最近では、わざわざ観光バスをチャーターして県外から来られる方の姿も目立つようになってきました。これからも安くておいしい食材をお届けすることはもちろん、私たちスタッフが自慢の笑顔で皆さんをお迎えしていきたいと思っています。小松島方面に来られた際は、ぜひお立ち寄りください。



### みはらしの丘 あいさい広場

●住所 / 〒773-0017徳島県小松島市立江町字炭屋ヶ谷47-3  
●営業時間 / 8:30~17:30 ●定休日 / 毎週火曜、年末年始  
●駐車場 / 100台(無料) ●お問い合わせ / 0885-38-0112

小松島の豊かな水と肥沃な土、そこに生産者の情熱が加わることで、皆さんに満足していただける食材を育むことができます。

豊かな水・肥沃な土、生産者の情熱がおいしさの秘密  
広い店内に並ぶ食材や商品には、すべて生産者名が記載されているので、買う人も安心。生産者にも自分の名前がブランド名そのものになるため、やりがいや責任感が生まれるんです。早期の納入時に顔を合わせた生産者同士からは「最近はこの野菜が人気」とか「次は何を出荷するの?」といった会話も聞こえてきます。小松島の豊かな水と肥沃な土、そこに生産者の情熱が加わることで、皆さんに満足していただける食材を育むことができます。

# グルメ スイーツ

徳島ラーメンのルーツとも言われる白系のラーメンをはじめ、うどん、小松島ご当地バーガーに魅惑のスイーツなど。小松島には通を唸らせる「うまいもん」がたくさんあります。



●ヤマモモと米粉のパウンドケーキ  
米粉のもちもち感とヤマモモの甘酸っぱさが相性◎の一品です。



●阿波番茶と和三盆のクッキー  
阿波番茶と和三盆の風味豊かなクッキー



●アベックようかん  
上半分が「ういろ」、下半分が「ほたようかん」、2つの味はとっても仲良し。しっとりもちもちした食感が人気です。



●おからと特産品を使ったアイスクリーム

徳島県立小松島西高等学校の生徒さんが開発した、おからを使ったヘルシーなアイス。味はすだち・やまもも・鳴門金時など様々。



●ほたようかん

黒糖風味の蒸しパン。豊作を祝って田畑作業の休憩の際食べられたと言われる昔ながらの郷土菓子。見た目はフカフカ、食べるのもっちり。黒糖のほどよい甘みにほっとします。



●古くから愛される阿波土産まんじゅう  
チョコレートを練り込んだ茶色の皮で白餡をくるんだ饅頭。体が茶色でお腹(なか)が白い狸とそっくり!昭和12年に小松島で誕生した狸の名前がつけた名産品です。

## 甘党垂涎 魅惑の小松島スイーツ

ひとくち食べれば、誰もがニコリ微笑んでしまう。そんな魅惑の小松島スイーツを一同に集めました。お土産や、友人・家族とのティータイムに小松島の銘菓を楽しんでください。



●ヤマモモ餡入りの和菓子

ほんのり甘酸っぱいヤマモモ餡入りのパイをバターケーキで包みました。

●すだちジュレ  
徳島県特産のすだちを使用したさわやかな風味と香りのゼリーです。



●ヤマモモのマカロン

小松島特産品のヤマモモのジャムが入った甘酸っぱいマカロン。



●徳島県産米粉のロールケーキ  
米粉をふんだんに使用したもちもちロールケーキです。



●ちりめん型クッキー

小松島特産品のちりめんの形をしたキュートなクッキー。



●すだち果汁入りの焼き菓子

徳島県特産のすだちを使用した焼き菓子。ほんのり香るすだちのさっぱりさがたまりません。

●黒米を使用した餅菓子

日本に古来から伝わる栄養豊富な黒米を使用した和菓子。特有の濃い紫色が特徴的です。



●狸型の最中

狸のまち・小松島市らしい、にっこり微笑む狸が可愛い最中。

### インタビュー ラーメン店 岡本 清 さん



徳島ラーメンのルーツとも言われる自慢の白系スープをぜひ味わってほしいですね。

今のお店は父が初代として築き上げたもので、戦後間もなく屋台からスタートしました。私はまだ小学生でしたが、夜になると父と一緒に港の方までラーメンを売りに出掛けたものです。その時に私が吹いたチャルメラは、今も大切に残っています。お店が軌道に乗るまでは父も大変な苦労をしたと思いますが、このチャルメラを見ると、そんな父の背中を思い出しますよ。おいしいラーメンを作るためには、良い材料選びと、丁寧な仕事が必要ですね。コクがあるけれど、あっさりとして食べやすい。そんな父が残したラーメンの味を守り続けるために、これからもみんなの愛情を込めてラーメンを作り続けたいと思っています。

個性豊かな当地ラーメンは全国各地にあります。豚骨醤油ベースにした「徳島ラーメン」もその一つです。茶系のスープには独特の甘みがあり、甘く煮付けた豚バラ肉を使うなどの特長で知られています。実はそのルーツが、港町として栄えた小松島にあるとも言われていることをご存じでしょうか。小松島のラーメンは、一般的な徳島ラーメンとは少し違っています。その一番大きな特長が「白系」と呼ばれるスープです。私たちの店では豚骨や鶏ガラなどを強火で長時間かけてじっくりと煮込み、コクと旨味のあるスープを取り出します。この調理の過程や、味を決める醤油などの加減によって、美しい白系のスープが生まれるんです。

### 父の背中を見ながら チャルメラを吹いた

### 小松島が誇る白系スープ

●小松島パン

米の生産に力を入れている小松島では、米粉も盛んにつくられています。米粉を使用した小松島のパンは、ふわふわでもちもち。その他にも特産品のちくわやフィッシュカツ、ちりめんを使用したものやたぬぎ型のパンなど、小松島らしいパンは人気が高く、売り切れ必至です。



小松島のちくわ入りパン

かわいいたぬぎ型のパン

フィッシュカツ入りのエビパン

和田島ちりめん入りの可愛いちりめん型のパン

米粉を使用したもちもち食感のパン (左:フィッシュカツ入り 右:ちりめん入り)

●小松島ご当地バーガー

徳島商工会議所の認定する「とくしまバーガー」のうち、小松島の食材(米粉、フィッシュカツ、鰻、阿波牛など)をメインにつくられたバーガーです。あいさい広場をはじめ、小松島市内のカフェなどで販売しています。





# 花火

## 阿波花火職人の情熱が夜空に咲く

### 花火職人対談 佐賀守さん 市山賢光さん

日本の夏を華やかに彩る花火。阿波花火の産地として知られる小松島でも、夏になると各地の伝統行事やイベントを通して、大小さまざまな花火が打ち上げられます。地元の花火職人として活躍する佐賀守さんと市山賢光さんに、阿波花火の歴史や、小松島の花火大会にかける意気込みについてお話をうかがいました。

●小松島の花火における歴史について教えてください。

**佐賀** 花火の起源は、戦国時代に使われていた狼煙です。蜂須賀公が阿波藩の大名となった頃、勝浦川沿いにはたくさん火薬庫がありました。もともと蜂須賀家は忍者のような家系でしたから、火薬の扱いに長けていたことも、阿波花火の発展と関係していると思います。

**市山** 小松島周辺の地域には、立火と呼ばれる独特の花火文化が残っています。筒から吹き出るこの花火を美しく見せるために、昔は集落ごとに秘伝を持っていました。立江町の八幡神社には、今も火薬の調査などについて書かれた書物が残っています。

**佐賀** 昭和の頃には小松島だけでも10軒以上の花火業者がありました。が、今は徳島県内で3軒を残すのみとなりました。そのうちの2軒が私と市山さんの所ですから、阿波花火の伝統を受け継ぐ会社のほとんどが、小松島に残っているということになりますね。

**市山** 私も中学生の頃から花火の現場に連れて行ってもらうなど、ずっと父親の背中を見て育ちました。家業を継ぐことに誇りを持ちながら、阿波花火の文化をしっかりと伝えていければと思っています。



### 市山賢光さん

「昔は風が吹いただけでも火薬に引火し、大事故につながる危険な仕事でした」と市山さん。それでも花火を作り続けた先代たちの魂を受け継ぎ、3代目として活躍中。阿波花火の歴史に新しい風を吹き込んでいます。

●小松島の花火と言えば「港まつり」が有名です。お二人はどのような思いで花火を作っているのでしょうか。

**佐賀** 今は私と市山さんが、一年ごとに港まつりの花火を担当しているんですが、市山さんが素晴らしい花火を上げるたびに「負けるもんか」と思いますね。性格的に負けるのが嫌なんです。

**市山** 私も同じです。技術を高めていくためには、きつとそういう競争相手が必要なんです。良きライバルとして切磋琢磨しながら、相手よりも美しい花火を打ち上げたいという思いが常にあります。

**佐賀** それに小松島の花火大会は、私たち職人の意見が十分に反映されるので、本当にやりがいがあるんです。全体の構成や打ち上げのタイミングなど、細かな部分を思い通りに表現させることができます。

**市山** 当日は台船の上から打ち上げるんですが、小松島は湾になってるので、港の周辺にいれば、どこからでも間近に花火を見ることが出来ます。水辺に反射した花火も、また美しいんですよ。

●尺玉による大型の花火が打ち上げられることでも知られていますね。

**市山** 尺玉は多くの火薬を使いますから、安全性を確保するための保安距離が定められています。港まつりでは台船を利用して海の上から打ち上げるため、街中のイベントよりも大きな花火を打ち上げることが出来るんです。

**佐賀** 花火の大きさは最大のもので全長300メートル以上にもなります。全国的な花火大会と比べても、まったく引けを取りません。当日、台船には10人くらいのスタッフが乗り込み、観客の歓声を聞きながら作業をしています。

**市山** 本当はそんなに多く乗り込まなくてもいいのですが、職人って「自分が打ち上げた花火を見てほしい」という思いがあるんですよ。拍手をもらうたび、次回も頑張ろうという気持ちが湧いてきます。

**佐賀** それがなかったら、この仕事はやってないですよ。ナリオ通りの花火大会を実現することです。花火の色や形、打ち上げのタイミングなど、どうしても納得のいかない部分が出てくる。ほんの数秒の世界ですが、これからも自分が描いた究極の形を追い求めていきたいと思っています。

**市山** 僕も佐賀さんに負けないように、もっと頑張らないと。秋に開催される元根井や横須の花火大会など、小松島は1年の間に幾度も花火が上がる珍しいまちです。小松島に遊びに来た際には、ぜひ港まつりをはじめとする、色々な花火大会を楽しんでください。



### 佐賀守さん

「小松島で育った業者として、地元の花火大会に力が入るのは当然のこと」と力強く話す佐賀守さん。日本各地の花火イベントも担当するなど、阿波花火の伝統をしっかりと守りながら活動の幅を広げています。



### イベント

「小松島港まつり」は、毎年夏に開催される小松島市の一大イベントです。一日目は自衛隊の祝賀飛行に始まり、市内の有名連による阿波踊りや民謡などを開催。二日目の夜に開催される花火大会では、約2000発の花火が夜空を彩ります。

- 小松島港まつり(こまつしまなとまつり)
- とき/毎年7月中旬(花火大会は原則海の日)
- 場所/小松島港周辺ほか
- お問い合わせ/0885-32-3809 小松島港まつり運営委員会事務局(小松島市産業振興課内)



# 阿波踊り

踊る阿呆に、見る阿呆。徳島と言えば、すっかり全国区になった阿波踊りの本場です。わがまち小松島でも、魅力あふれる連が元気いっぱい活動中！それぞれの特長や活動内容についてご紹介しましょう。



## 小松島で一緒に「阿呆」になりましょう。

港町として栄えた小松島は、昔から阿波踊りが盛んな地域でした。当時は大型の客船が発着していましたので、お客さんの出迎え踊りなども行われ、沿道はたくさんのお客で賑わったものです。地元の老若男女が町内を踊りながら歩く「二丁回り」も、毎年のように開催されていました。観光としてだけでなく、人々の暮らしにも阿波踊りがしっかりと根付いていたのです。小松島市阿波踊り振興会の連長たちも、そんな懐かしい記憶を大切にしている人ばかり。当時の熱気を現代に受け継ぎながら、より洗練された踊りを楽しんでいただくために日々練習に励んでいます。

阿波踊りの魅力は、誰もが「踊る阿呆」にも「見る阿呆」にもなれること。踊りの基本形はありますが、楽しみながら自由に踊るのが一番です。鉦や太鼓が打ち鳴らす2拍子のリズムに歩調を合わせれば、自然に心が浮かれてくることでしょう。振興会では、小松島で開催される主なイベントに毎年参加しています。各連の個性あふれる踊りをゆっくりとお楽しみいただいた後は、ぜひ皆さんも踊る阿呆になっ一緒にいっけてみてください。きつと、小旅行の良い思い出になりますよ。

## 浴衣ハツピのうちわ紹介

色とりどりの浴衣やハツピ、うちわは、まさに連の象徴。優雅さや豪快さをまとったデザインには、それぞれの目標や願いなどが込められています。街や会場で見かけたら、ぜひ一緒に踊ってみてください。



●金長連



●とば平連



●あすか連



●やっこ連



●八千代連



●よあかし連



●黒潮連

### 阿波踊りイベント

小松島の一大イベントである「港まつり」をはじめ、春の金長まつりや、テレビ局のチャリティー企画と連携したイベントなどで、小松島市阿波踊り振興会の演舞を見ることができます。本場の阿波踊りを、ぜひ体感してください。

#### 阿波踊り公演が見られる小松島の主なイベント

- 小松島春のまつり・金長まつり (5月)
  - 小松島港まつり (7月)
  - チャリティー阿波踊りin小松島 (8月)
- お問い合わせ/0885-32-3809 (産業振興課)

### やっこ連



阿波踊りでわがまちを元気にしよう。昭和42年に勝浦町で結成されました。イベントへの参加や福祉施設への慰問など、一年を通じて積極的に活動しています。女性は女らしくしなやかに、男性は元気いっぱいに踊ります。

### よあかし連



ミカンの故郷である勝浦町から、小松島の踊りグループに仲間入り。ダイナミックな男踊りと、優雅でしなやかな女踊り、元気いっぱいの子どもたちによる踊りをお楽しみください。心沸き立つ鳴り物陣にもご注目を。

### 黒潮連



太平洋流を流れる潮流「黒潮」の如く、男踊りは荒波のような激しさが特長。女踊りは、さざ波のようなしなやかさと、時折見せる活発な踊りを融合させました。観客とともに、会場全体を包む大きな波となって踊ります。

### とば平連



女踊りは優雅に、男踊りはリズム感良く、そして子どもたちは元気いっぱいに踊るのが「とば平連」のモットー。先輩たちから受け継いだ伝統を守りながら、阿波踊りを通じて礼儀作法も磨くように心掛けています。

### あすか連



合い言葉は「和気あいあい」。飛ぶ鳥「あすか」の意味合いを込め、男踊りも女踊りも天高く羽ばたくイメージで踊ります。伝統を守りながらも躍動感に満ち、テンポの良い鳴り物とのチームワークも見所の一つです。

### 八千代連



地元である小松島の青年男女によって昭和40年に結成されました。着物にあしらわれた日本の象徴「桜」を背に、郷土芸能を守るために活動しています。美しさやダイナミックさを織り交ぜた踊りをご堪能ください。

### 金長連



昭和22年に小松島で産声をあげ、民謡「阿波狸合戦」の総大将の名を連名としました。正調のお囃子を基本としつつ、独創的なリズムにも挑戦しています。小松島市の花「ハナミズキ」をちりばめた衣装が目印です。

## 連紹介

小松島市阿波踊り振興会には、個性あふれる7つの連が所属しています。踊りの特長はさまざまですが「みんなを笑顔にしたい」という思いは同じ。真正正銘の踊る阿呆たちです。

とくしま旅づくりネットを活用して、もっと、徳島を満喫しよう!



## 小松島市も加盟する とくしま旅づくりネットとは?

徳島県東部の12市町村により結成された「とくしま旅づくりネット」。広域での観光資源等を活用した体験やグルメ、長期滞在型観光など、それぞれの観光資源を活かしたネットワークづくりに取り組んでいます。小松島市に遊びに行く際には、下記の観光スポットにもぜひ足を運んでみてください。

### とくしま旅づくりネットに加盟市町村の 代表的な観光スポットを紹介します。



**●徳島市**  
市内には吉野川をはじめとした大小138の河川が流れる徳島市。阿波おどり、阿波人形浄瑠璃、LEDアートなど魅力的な文化が溢れています。  
【お問い合わせ：観光課 088-621-5232】  
●代表的な観光地  
阿波おどり会館、ひょうたん島周遊船 など



**●上板町**  
春は名所松島千本桜、夏はホテル、秋は紅葉とさまざまな美しい景観が特長。多くの文化遺産と調和のとれたロマン溢れる町です。  
【お問い合わせ：産業課 088-694-6806】  
●代表的な観光地  
枝の館(藍染体験)、松島千本桜 など



**●石井町**  
石井町は古代阿波の中で最も栄えたと言われている地域。交通や文化も早くから発達していたため、貴重な文化財や史跡が数多く残されています。  
【お問い合わせ：わくわく観光情報課 088-674-1111(代)】  
●代表的な観光地  
藤まつり(地福寺)、田中家住宅(国指定重要文化財 など)



**●松茂町**  
空と陸、徳島の玄関口として人々の交流の要所となっている町。美しい海や川、緑を活かした観光施設が数多くあります。  
【お問い合わせ：産業環境課 088-699-8714】  
●代表的な観光地  
徳島とくしまターミナル、月ヶ丘浜公園 など



**●北島町**  
大型ショッピングモールの他にも春のチューリップ、夏の火花、秋のコスモス、冬の水鳥観察など、自然が生み出す四季折々の風景を楽しむことができます。  
【お問い合わせ：生活産業課 088-698-9806】  
●代表的な観光地  
チューリップ公園、ショッピングモール など



**●上勝町**  
徳島市内中心部から西へ約40kmの位置にある上勝町は、殿川内渓谷や高丸山、棚田など自然に恵まれた地域です。  
【お問い合わせ：産業課 0885-46-0111】  
●代表的な観光地  
棚田、農家民宿、月ヶ谷温泉 など



**●勝浦町**  
平成元年に始まった「ビッグひなまつり」をはじめ、春には桜、夏にはホテル、秋には火花、冬はみかん狩りなど、季節ごとのイベントが盛りだくさんです。  
【お問い合わせ：産業建設課 0885-42-1506】  
●代表的な観光地  
ビッグひなまつり、今山農村舞台 など



**●藍住町**  
吉野川下流の北岸に位置する藍住町。県内外へのアクセスの充実、田園風景の広がる自然豊かさが特長な町です。  
【お問い合わせ：建設産業課 088-637-3122】  
●代表的な観光地  
藍の館(藍染体験)、パラ園 など



**●板野町**  
板野町は徳島県の北東部に位置しています。「金泉寺」、「大日寺」、「地藏寺」など、歴史や文化に触れることのできる施設が数多くあります。  
【お問い合わせ：産業課 088-672-5994】  
●代表的な観光地  
あすむらんど徳島、あびせ温泉 やすらぎの郷 など



**●神山町**  
四季の変化に富んだ深谷美を誇る鮎喰川の上流に位置する神山町。大自然に恵まれていることから川遊びや花見客で賑わいます。  
【お問い合わせ：産業建設課 088-676-1118】  
●代表的な観光地  
神山温泉、神山さくら街道、阿川のかかし など



**●佐那河内村**  
清流・交流・定流の村「佐那河内村」。すだち、みかん、しいたけ、ねぎ、いちごなど、四季折々のおいしい農産物が観光客を温かくもてなします。  
【お問い合わせ：産業建設課 088-679-2115】  
●代表的な観光地  
大川原高原、ももいちご など

魅力にあふれた街や自然、人々の暮らしをあなたの旅づくりに盛り込んでみてください。  
とくしまの新しい発見を皆さんにお届けします。

お問い合わせ とくしま旅づくりネット事務局(徳島県東部地域体験観光市町村連絡協議会) 徳島市観光課 内  
〒770-8571 徳島市幸町2丁目5番地 TEL.088-621-5232



一日の疲れをいやすならココ

### ●夕焼けがきれいな江田の潜水橋(江田町)

「晴れた日の夕方には、真っ赤に焼けた太陽が潜水橋付近の水面にも映り、まるで夕焼けの中にいるような気分になります。一日の仕事の疲れも吹き飛ばす、おすすめの瞬間ですよ」(産業振興課/中平)



恋人とドライブするのにうってつけ

### ●日峰山の夜景

「小松島市と徳島市の境にそびえる日峰山。日中はもちろん、街の明かりがきらめく夜の風景も素敵です。ドライブウェイを友人や恋人と一緒に上って、この絶景をぜひ体験してほしいですね」(税務課/高坂)



市民に愛される湧水を味わって

### ●市内各地の湧水スポット

「地藏寺の境内には、阿波藩主・蜂須賀公も愛したとされる宝寿水という湧水があり、市民が汲みに訪れるなど親しまれています。また、のぞみの泉の湧水も飲用として親しまれており、このほかにも市内各地に湧水スポットがたくさんあります」(介護福祉課/橋本)  
●宝寿水(松島町・地藏寺境内) ●弘法大師 お杖の水(日開野町)  
●のぞみの泉(南小松島町) ●イデアの泉(小松島町) ●名水 銀輪(横須町)

## 必ず立ち寄りたい 市役所職員のおすすめスポット5

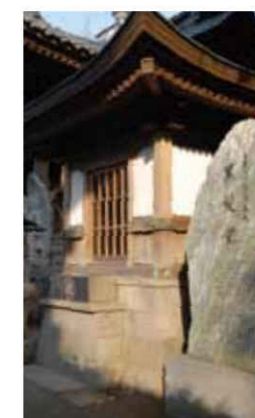
小松島市を知り尽くした市役所職員おすすめの、観光客にはあまり知られていない必見スポットをご紹介します。



釣り好きにはたまらない好漁場

### ●大手海岸の突堤(和島町)

「新港地区、元根井地区など、お勧めエリアは数あれど、和島大手海岸の突堤は全国から数多くの釣り師が訪れる人気スポット。紀伊水道の潮の関係で、本来は沖にしかいない魚が、突堤付近からの投げ釣りや狙うことができるんです」(産業振興課/大野)



悪しき心を持つ人は  
進めなくなる!

### ●立江寺・黒髪堂(立江町)

「四国霊場のひとつである立江寺は『阿波の関所』と呼ばれ、罪人や悪しき心を持つ人が、ここから先に進めなくなるという霊験あらたかな場所。ほかにもお京の黒髪伝説など、数多くの言い伝えが残るお寺です」(児童福祉課/川又)

## J R 南小松島駅舎内に 観光案内ステーション誕生!



小松島の魅力を余すところなく教えてくれる「こまつしま観光案内ステーション」が、平成24年2月1日よりJR南小松島駅舎内にオープンしました。観光パンフレットや案内図、DVD上映のほか、専任のボランティアガイドが小松島の見所を親切に教えてくれるので、小松島を訪れた際には、ぜひ一度立ち寄りみてください。  
お問い合わせ/0885-32-1537

## まだまだあります! おすすめスポット情報

- 朝一番にできたての竹ちくわ・フィッシュカツをお店でいただきます…
- ステーションパークでかわいい狸たちと記念撮影…
- 藤樹寺で恋みくじ…
- 小松島ご当地バーガーでお昼ご飯…
- あいさい広場で弁当を買ってしおが公園へ…
- おいしいうどん屋さんがいっぱい…
- いちご狩りや、やまもも狩りが楽しめる…

# 小松島アクセスMAP



## JR

徳島駅	… 南小松島駅間	約25分
高松駅	… 南小松島駅間	約2時間
高知駅	… 南小松島駅間	約3時間30分
松山駅	… 南小松島駅間	約4時間30分

## 空路

東京(羽田空港)	… 徳島阿波おどり空港	約1時間10分
福岡(福岡空港)	… 徳島阿波おどり空港	約1時間40分

※小松島まで徳島阿波おどり空港からバスで約50分、  
JR徳島駅からJRまたはバスで約25分

## 高速バス

東京	… 徳島	約9時間
神戸	… 徳島	約1時間50分
高松	… 徳島	約1時間30分
松山	… 徳島	約3時間
高知	… 徳島	約3時間
大阪	… 徳島	約2時間30分

※小松島までJR徳島駅からJRまたはバスで約25分

## 自動車

高松中央IC	… 鳴門IC(高松自動車道)徳島市街	約1時間
松山IC	… 徳島IC(徳島自動車道)徳島市街	約3時間
高知IC	… 徳島IC(徳島自動車道)徳島市街	約2時間30分
神戸西IC	… 鳴門IC(神戸淡路鳴門自動車道)徳島市街	約1時間40分

※小松島まで鳴門ICから車で約50分、徳島ICから車で約25分



## 徳島県小松島市

お問い合わせ／小松島市産業振興課

〒773-8501 徳島県小松島市横須町1番1号

[TEL] 0885-32-3809 [FAX] 0885-33-0938

[E-mail] sangyoshinko@city.komatsushima.tokushima.jp

[HP] <http://www.city.komatsushima.tokushima.jp>